

特集1

省察的実践を 実践する

方法論・マニュアルとは
異なる形のかかわり方を
考えるために

書籍『わかりやすい省察的実践—実践・学び・研究をつなぐために』。看護教育だけでなく、教育・人材育成にかかわるさまざまな領域の方からご好評をいただけてきました。本特集はその「実践編」という位置づけです。

「実践・学び・研究」という、それぞれ別の形で語られてしまいがちなこれら三者を貫くものとして省察的実践を捉えていただくため、サブタイトルに「つなぐために」を付記しました。そして形容詞の「わかりやすい」には、概念として理解が簡単である意味ではなく、みなさんの日々の実践、経験と紐づけて読んでいただきたい、という著者からのメッセージが込められています。

実践、実践と繰り返しにはなりますが、省察的実践は「螺旋的」とも表現されています。本特集を通して、みなさまの実践が螺旋的に省察されていくことを期待しています。